

平成20年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	5. 農林水産業費	事業名	3. 農業生産基盤整備事業費			
項	1. 農業費	細事業名				
目	5. 農地費	担当課係	農政課	(執行課: 農政課)		

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業	(単位: 千円)							
	(歳入)	(歳出)	財源内訳								一般財源
要求額	0	37,487	要 求								37,487
決定額			決 定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)			創造性と活力にみちたまちづくり / 農業の活性化と農村環境の保全されたまちづくり / 土地改良事業を支援し								
	【土地改良事業の支援に関する業務】			施策体系コード	04-01-01-50-10			事業番号	119-1			
	農業生産基盤である耕地の区画形質の改善、用排水路・農道整備や換地による耕地の集団化、用排水機場の総合的な整備により、生産性の高いほ場の整備を実施する土地改良事業に対して助成します。			総事業費	166,590千円					事業期間	平成18年度～平成22年度	
				年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度			
					12,651	12,512	37,390	53,017	51,020			
【農地・水環境保全向上対策事業に関する業務】			(事業実施に関する根拠法令) 土地改良法									
地域ぐるみでの効果の高い共同活動及び農業者ぐるみでの先進的な営農活動の促進により、農業が有する多面的機能の発揮を図るため対象事業地												

<事業に関する説明>

(事業の説明) 農業生産基盤の整備及び開発を図り、生産性の向上、農業生産の増大等農業構造の改善に資するため、排水機場の修繕等に対し、印旛沼土地改良区へ補助金を交付する。 地域ぐるみで農業資源の保全を行うため、千葉県農地水環境保全向上対策協議会が行っている補助に対し、その補助額の1/4を負担金として交付する。	(事業の目的) 耕地の区画形質の改善、用排水路及び農道の整備、換地による耕地の集団化、揚排水機場の整備等を総合的に実施する。 農業者の高齢化や混住化で、地区内の農地、農道、水路等の多面的機能を持つ農業資源の保全が困難になっていることから、非農業者の参加により地区ぐるみで農業資源の保全を行う。	(事業の効果) 高生産性農業の実現及びこれを担う経営体の育成が図れる。 農業資源の保全が図れる。
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項) 千葉県農地水環境保全向上対策協議会に対する負担金について、実施計画で予定されていなかった地区が平成20年度に急遽追加されたため、実施計画額より予算額が上回っている。